

RYOBI

®

ウッドディアート

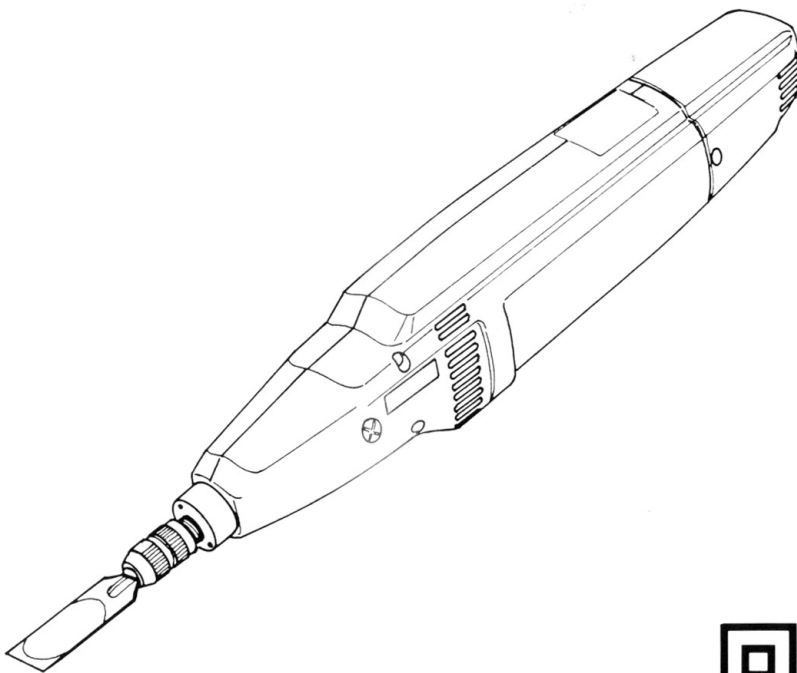
WA-1000

取扱説明書

保証書つき

このたびは、リョービウッドディアートをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度お読みください。



●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

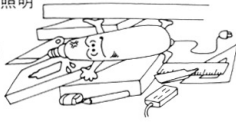
必ず守ってください

●安全に注意して、正しくご使用いただくために……

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途には、お使いにならないでください。

●周囲の安全に注意してください。

作業をするところの整理整頓に心がけてください。手もとには、十分な照明が必要です。小さいお子様は危険ですから注意してください。



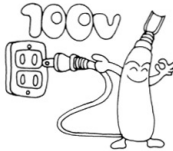
●切れ味の良い刃物を使用してください。

切れ味の良い刃物は、加工の効率が良いだけでなく、機械の持ちも良くします。



●銘板表示の電圧でご使用ください。

必ず 100 V のコンセントに接続してください。高すぎる電圧は焼損の原因となります。また低すぎる電圧も力不足となります。



●刃物交替のときは電源を切ってください。

刃物を交替するときは、必ず電源コンセントからプラグを抜いてください。



●電源コンセントへの接続。

本機のスイッチが切れていることを確認してから電源コンセントにプラグを接続してください。使用しないときはプラグを抜いてください。



●運転中は刃先に触れないでください。

運転中は刃物に触れることはもちろん、刃物の前に手を出さないでください。



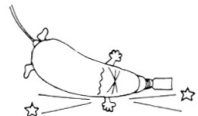
●引火物の近くでは使わないでください。

引火性の塗料、シンナーなどの近くでは絶対に使用しないでください。



●製品は大切に扱ってください。

誤って落したり、ぶつけたりしたときは、異常が無いことを確認した後で、使用してください。



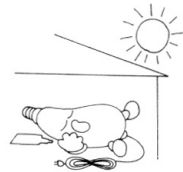
●濡れたところや、雨中での使用はしないでください。

絶縁不良から感電や故障の原因となります。



●使用後の保管は…

汚れやホコリを取り除いたのち、小さいお子様の手が届かない安全なところで保管してください。直射日光が当たり高温になるところや、湿度の高いところもさけてください。

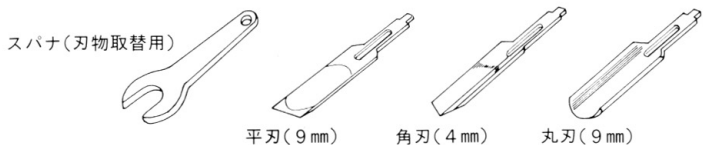
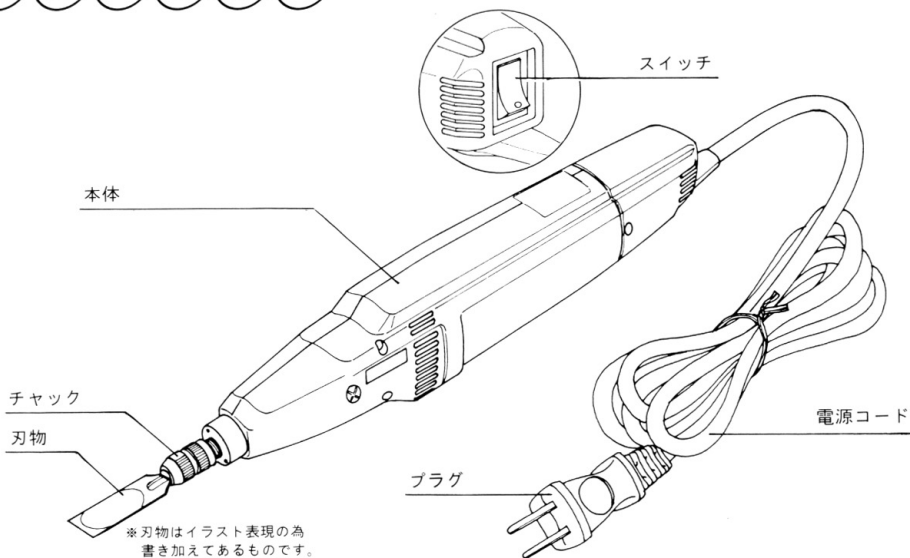


●能力を超えた作業はさけてください。

能力を超えた作業は危険です。また、機械故障の原因になります。



各部のなまえ

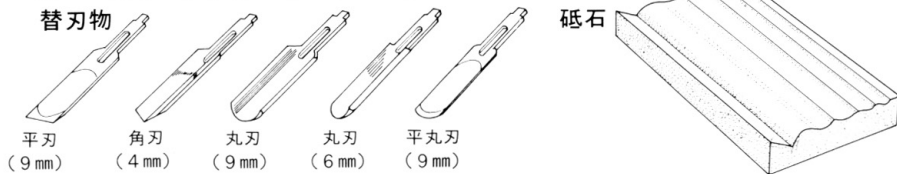


仕様

| | | | |
|------|--------------|----------------|---------------|
| 電源 | 100V・50/60Hz | チャック寸法 | 5.5mm幅×1.6mm厚 |
| 消費電力 | 65W | 機体寸法 (刃物除く) | (長さ) (幅) (高さ) |
| 定格 | 15分 | | 240×40×46mm |
| 振動数 | 11,000回/分 | 重量 | 580g |
| 絶縁方式 | ☐ 二重絶縁 | コード長さ | 1.8m |

別販売

●加工に合わせ、お買い求め下さい。

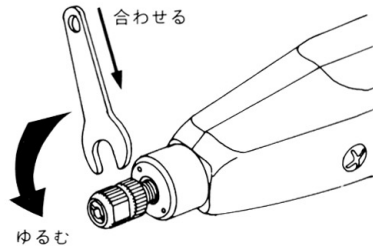


刃物の取り付け、取りはずし

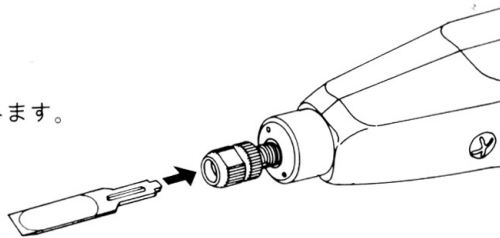
刃物に触れるときは、スイッチが切れていることを確認したのち、電源コード端のプラグをコンセントから抜いて下さい。

●刃物の取り付け

- 本体前のチャックを付属のスパナでゆるめます。
チャックの平らなところへスパナを合わせ、前から見て左へスパナを廻して、チャックをゆるめます。
チャック内側の刃物取付軸の溝が（チャックの後側に）1mmくらい見えるところまでゆるめます。

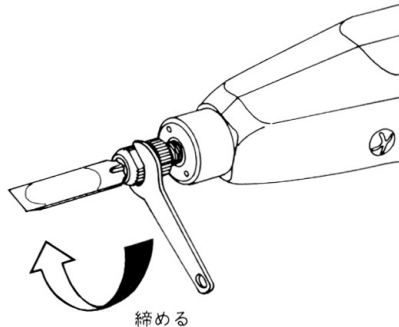


- 刃物軸を刃物取付軸の溝に差し込みます。（奥に突当たるまで入れます。）



つぎにチャックを指で右へ廻し、仮締めをします。

仮締めをしたチャックをさらにスパナを使い締め付けて、刃物を固定します。



※締め付けすぎないように、注意してください。
刃物がゆるんだり、チャックが簡単に廻ったりしないくらいを目安とします。

●刃物の取りはずし

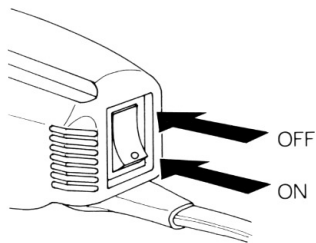
- はじめの取り付けのときと同じようにチャックをゆるめます。
刃物を前へ引き抜いたのち、チャックを軽く締め付けておきます。
はずした刃物の刃先には、ミシン油などを塗っておいてください。

スイッチ

- 電源を接続したのち、本体うしろのスイッチの白い丸印側を押さえると電源が入ります。(ON)

※電源が入ると本体内のモーターが動きますが、そのままでは刃物は振動しません。

刃先に圧力を感じると、刃物が前後に振動を開始する構造となっています。



- スイッチの無印側を押さえると、電源は切れます。(OFF)

※点検時はもちろん、機械から離れるときは念のため、スイッチのみに頼らず必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

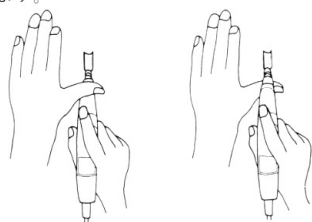
使用方法

- 任意の刃物を取り付けた本体を加工材の上へ持って行き、スイッチを入れます。
- 加工材が移動しないよう片手で押え、加工する位置に刃先を当てがう(押える)と、刃先が振動、切削を開始します。

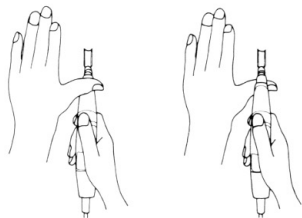
ご注意

- 加工材を押える手の位置は、必ず刃物(刃先方向)より後にしてください。万一、刃先が滑ったときのケガを防止するためです。

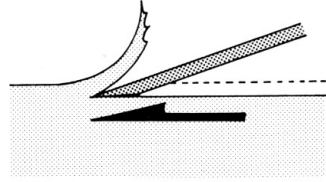
- 左手の親指は、本体の上または下で受けて停まるようにします。
- 右手を下から出して(ペン握り)保持する方式は、細かいものの彫刻に適しています。



- 右手を上から出し本体を保持する方式は、大きいものの彫刻に適しています。



- 切削時は刃先が必要以上に加工材に深く、くい込まないように、すくい取るように切削をします。
- 切削中、刃先が加工材に食い込んだときは、刃先を一度後へ戻し、再度位置を変えて切削をしてください。
- 本機の定格時間は15分となっています。15分近く運転されましたら、休ませてください。



●加工材について

一般に市販されている彫刻用加工材の他にご自身で加工材を選ばれるときは、つぎの様な点を参考にしてください。

●針葉樹系

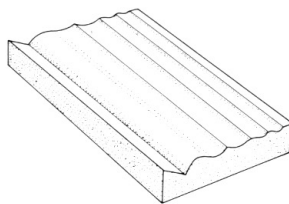
桧（ひのき）、杉、松などに代表される木です。
 一般に縦方向の組織が強く、切削面が荒れる場合が多く見られます。
 木目が美しく良いのですが、軟質で細かい彫刻には向いていません。

●広葉樹系

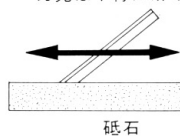
ケヤキ、サクラ、ナラ、カシ、ブナ、クリ、トチ、カツラ、ホウ、クワなど、全体に組織が複雑で、材質的にもかたく安定しているため、細かい彫刻に向いています。
 カツラやホウの木は材質がち密で均質なため、彫刻用加工材としても市販されているものです。
 但し、やわらかいため、ぶつれたりすると凹みやすい点があります。
 カシの木は逆にかたいため、切削に時間がかかります。
 良く研いだ、切れ味の鋭い刃物で彫ってください。
 クリの木などは木目のおもしろさがありますが粗さも目立ちます。

刃物の手入れ

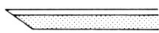
- 使用後は刃先にミシン油などを塗り、うすくのばしておいてください。
また、使用後は砥石を使って刃先を研ぐ習慣を付けておくと、いつも鋭い切れ味が得られます。
- 研ぎやすい専用の砥石を別販売で用意しています。
- 刃先を研ぐときは、水または油（ミシン油をおすすめします）を刃先に付けて研いでください。
※ 水を付けて研いだときは、刃先の水分をよく取り除いたのち油を塗っておいてください。



よい研ぎ方
刃先は平行に研ぐ



切れる刃先



切れない刃先

- 先端が丸くなる

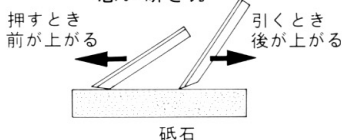


切れない刃先

- 先端の角度が違う

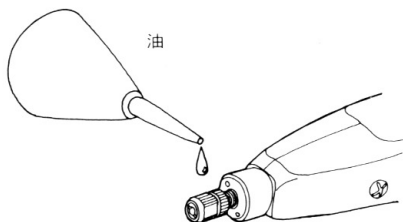


悪い研ぎ方

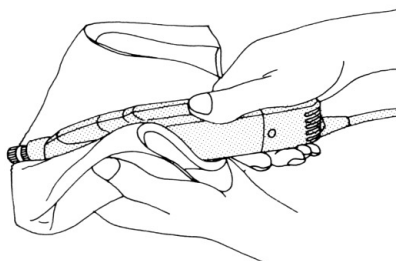


手入れと保管

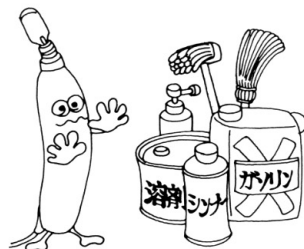
- 使用後は刃物を取りはずし、チャックや取付軸に薄く油を塗っておいてください。



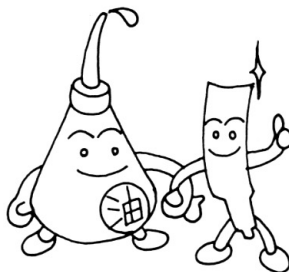
- 本体は乾いた布でふいてください。
汚れが付いたときは、石けん水をふくませ、きつくしぼった布で汚れたところをふきとるようにしてください。



- ガソリン、シンナー、石油など、揮発性溶剤での清掃は本体をいためますので、さけてください。



- 水洗いは絶対にしないでください。
- 刃物は、刃先を研いだのち油を塗り、サビなどが発生しないようにしてください。



- 保管場所は、つぎのような安全なところとしてください。
 - ・ 小さいお子様の手が届かないところ。
 - ・ 落下の恐れのないところ。
 - ・ 直射日光のあたらないところ。
 - ・ 風通しが良く、高温にならないところ。
 - ・ 屋内で湿気の少ないところ。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上
ご不明な点があった場合にはご遠慮なく
お買い求めの販売店、もしくは最寄りの
リョービ販売営業所にお問い合わせくださ
い。

発売元



リョービ販売株式会社



リョービ株式会社